

BURNING!! 04





BURNING!!04

【前回までのお話】

終戦後、オープを訪れたシンとルナマリアは、慰靈碑の前でアスランとメイリンに再会する。

旧交を温め二人と別れた後、シン達はオープ市街を散策するが、その途中、図らずもホテルエリアに迷い込んでしまう。

「…休んでいこうか？」

「え？」

さり気なさを必死で装うシンの問いに怪訝な顔で応えるルナマリア。

「あ…っ、いやなんでもない…！」

焦って踵を返すシンの手が不意に握られる。



「ルナ…？」

「……いいわよ…」

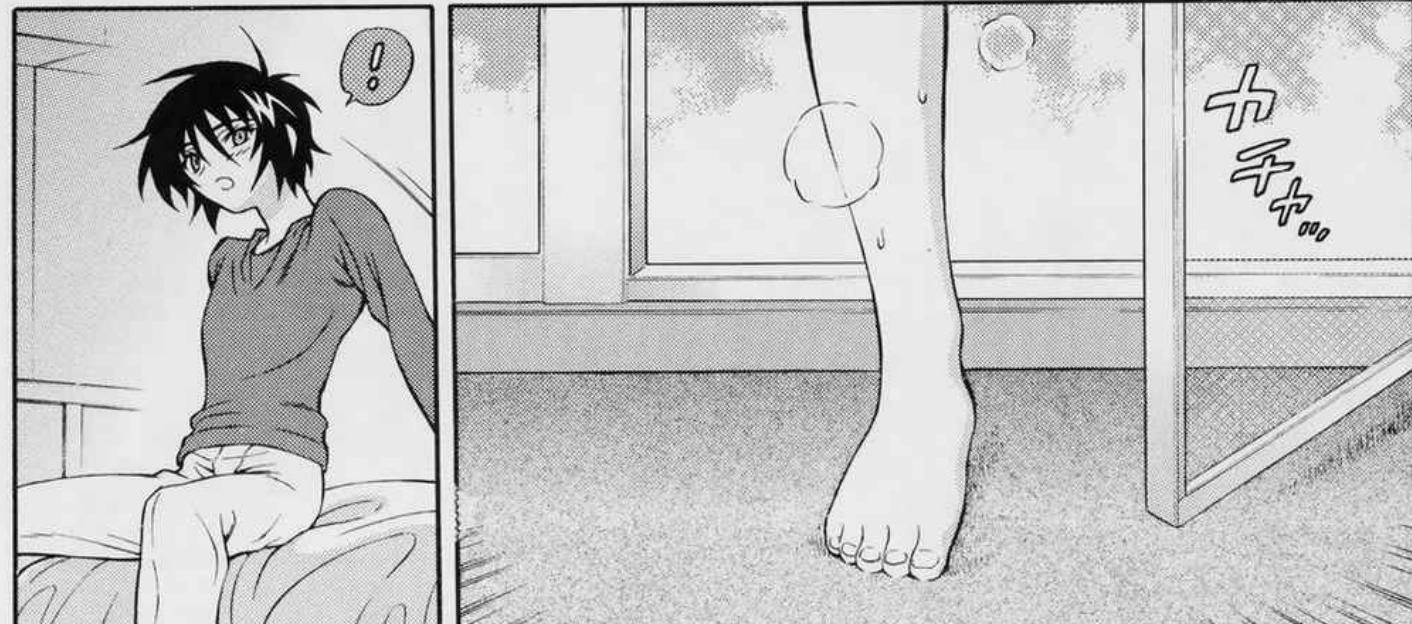
シンと視線を合わさず、ルナマリアは小声ながらもはっきりと言葉を発した。

「…本当に…いいの？」

ルナマリアは今度は黙って肯く。

シンとルナマリアは、お互の手がじっとりと汗ばんでいるのを意識していた……。



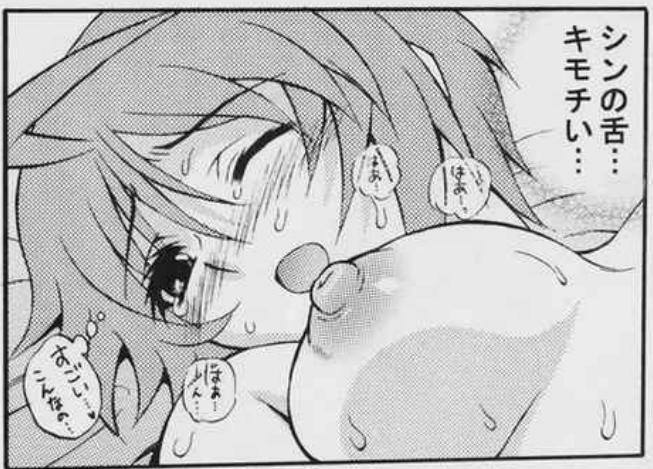














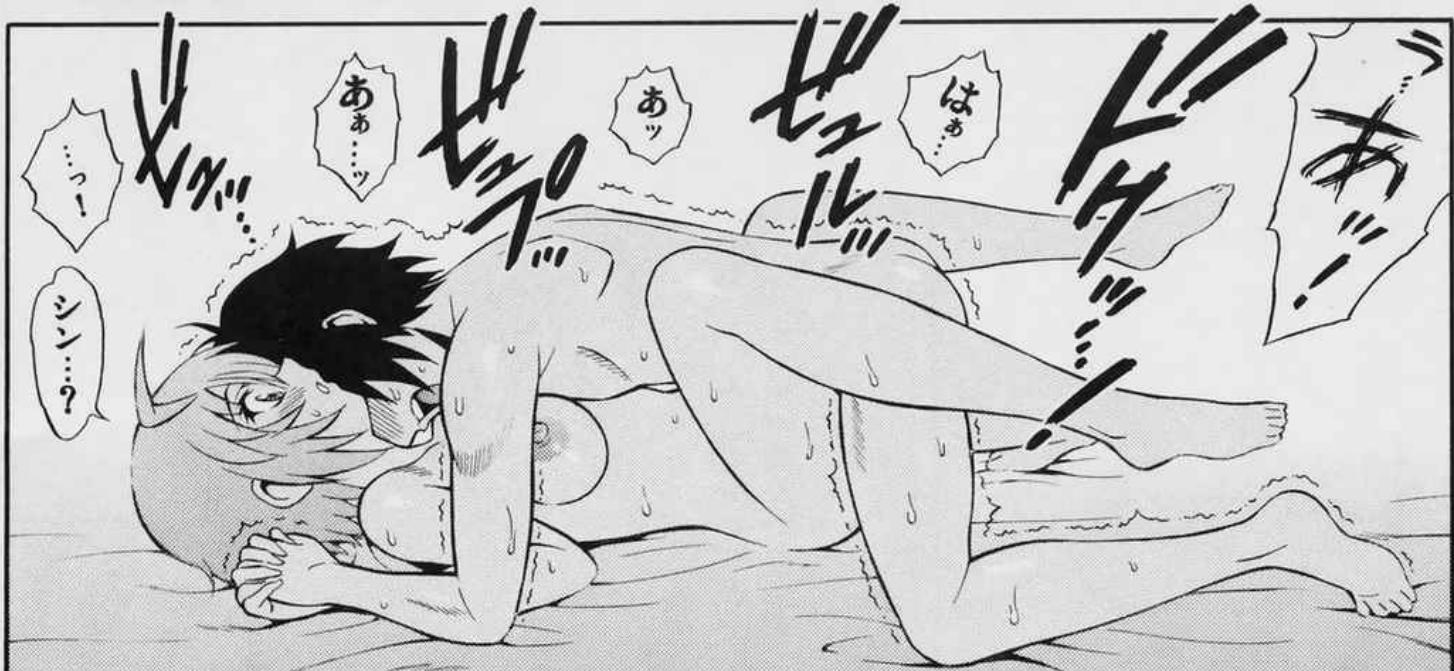






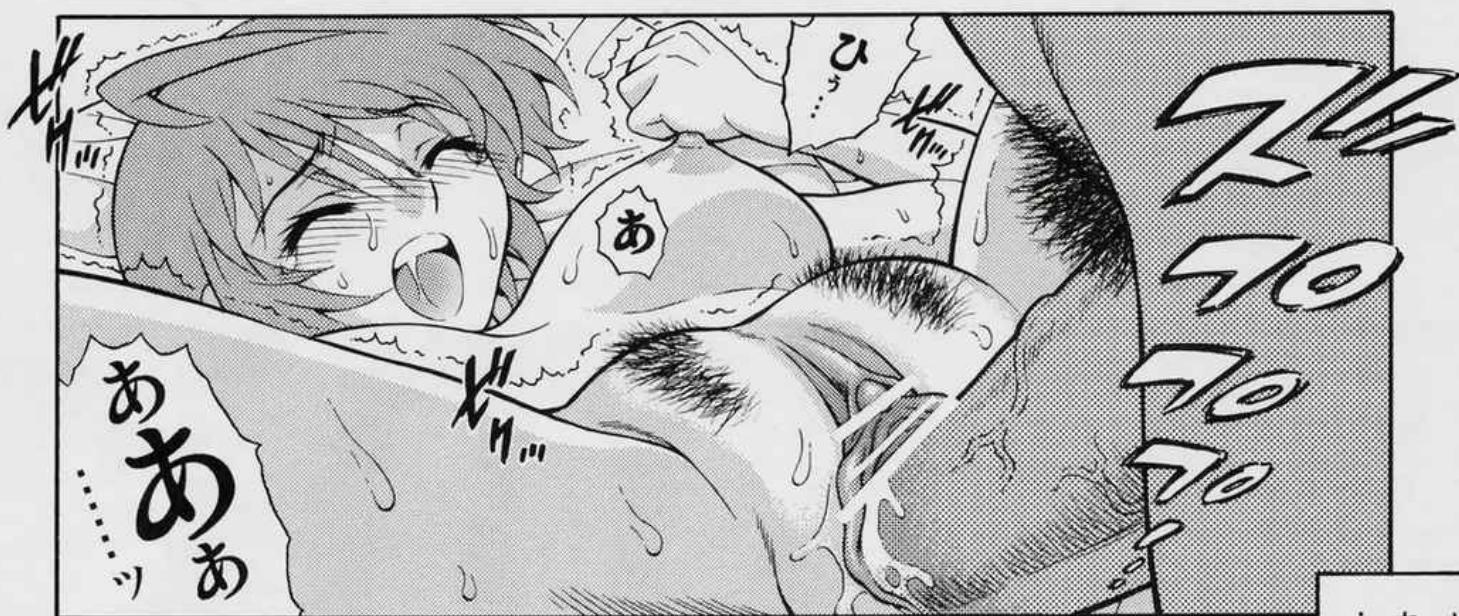














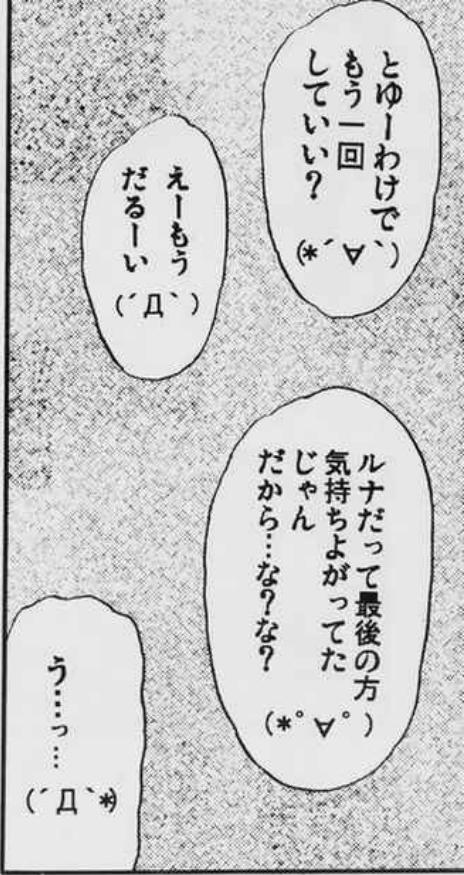




ルナも一緒にイつて...
あッ...射精る...
で







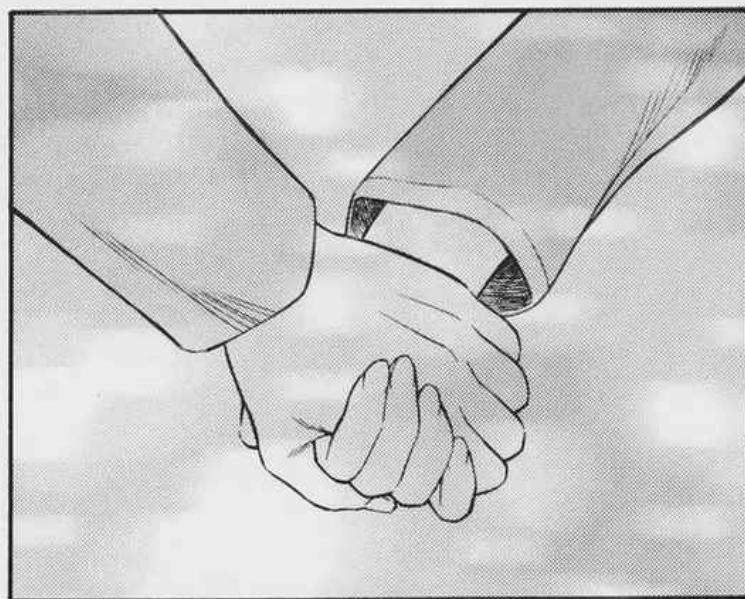
次の日——

初めて二人だけの朝を迎える…
一緒にシャワーを浴びて…
…浴びながらまた一回して……
(シンのばか！えろ!!さる!!!)



ホテルを出た私たちは
復興の活気に湧き立つ
オーブの中を駆け回った

繋いだ手は



離さない
もう



あとがき

どーも春風です。

よーやく。よーやく『BURNING!!'04』完成しました！何故こんな遅く…(ノ∀｀)。

まー、それはともかく、5冊目のシルナ本はファイナルプラス直後のお話でした。

今回のシルナは番組内で描かれた以上のコトは、つまりキスから先はしてなかつた…

とゆー、「BURNING!!」シリーズ中、一番本編準拠な気もしたりしなかつたり。

今回のコンセプトは、初々しく頑張るシルナだったわけですが…

どーなのでしょう？

ともあれ、お楽しみいただけすると幸いです。

にしても、ファイナルプラスの放送から一年以上経ってるんですよね。

早い…早すぎる……('Д`)。

ところで、「しょうがないわね…」の後、バックでもう一回戦描くつもりだったのですが、根性と時間の残量が切れたのでやめました。

今回の『'04』でシルナシリーズは一旦締めるつもりだったのですが、

このオミットした部分を少し膨らませて、短いマンガを描くかもです。

…あ。有言不实行な人間なので、信用しないで下さい。あああ(ノ∀｀)。

そんなわけで、読んで下さって、どうもありがとうございました！

ご意見・ご感想、お待ちしております。

どしどし励まして下さい(*'∀`)

ではまたいつかー。

Feb 2007 春風ソヨグ

BURNING!!'04

2007年2月11日初版発行

編集+発行: GUST

印刷: 共信印刷株式会社

発行者: 春風ソヨグ

<http://gustnavi.sakura.ne.jp/>

harusoyo7@mail.goo.ne.jp

表紙彩色: 佐々木清彦

<http://homepage3.nifty.com/popmart/>

未成年者の購入・購読、また本誌の
無断転載・複製・アップロードを禁じます。



BURNING!! 04

Presented by

GUST

HARUKAZE SOYOGU

ADULT ONLY